

第30回（2023年度）全国銀行学術研究振興財団賞  
＜法律分野＞

森下 哲朗 上智大学法学部教授

〔表彰理由〕

金融取引法と金融監督法の双方の分野における、伝統的な課題とデジタル化・グローバル化の中での現代的・先端的な課題の双方にわたる、理論的解明と実務的関心を兼ね備えた、その業績は高い評価を得ている。

〔主要著書〕

『デジタル化・グローバル化時代の金融法』  
（単著）、  
有斐閣、2022年4月（ISBN: 9784641243545）

『シンジケート・ローンの法的課題』  
（共編著）、  
商事法務、2019年3月（ISBN: 9784785727055）

『ケースで学ぶ 国際企業法務のエッセンス』  
（共編著）、  
有斐閣、2017年9月（ISBN: 9784641046795）

〔主要論文〕

「“Chapter 2: Technical Description of DLT for Conflicts Lawyers” and “Chapter 26: Blockchain and Japanese Private International Law” in Andrea Bonomi, Matthias Lehmann, and Shaheez Lalani ed.,」  
Blockchain and Private International Law, Brill、2023年11月

「経済制裁に関する法的課題」  
立教法学（109）286-308頁 2023年10月

「DAO(Decentralized Autonomous Organization)に関する法的課題」  
松井秀征、田中亘、加藤貴仁、後藤元編『商法学の再構築』所収、有斐閣 2023年10月

「銀行および銀行グループの情報利活用に関する法的課題—ファイアーウォール規制を題材に—」  
金融法務研究会『銀行に対する業務範囲規制の在り方』 1-14頁 2023年6月

「暗号資産の担保」  
角紀代恵、道垣内弘人、山本和彦、沖野眞己編『現代の担保法』所収、有斐閣 2022年10月

「デジタル化の進展と消費者法の課題」  
現代消費者法 (57) 7-13 頁 2022 年 12 月

「第 6 編外国会社」  
岩原紳作編『会社法コンメンタール 19 巻』所収、商事法務 2021 年 3 月  
(ISBN : 9784785728564)

「法人の機関決定についての銀行の義務」  
金融法務研究会『取引先法人の取引にかかる内部手続と金融機関の実務』 1-25 頁 2021 年 3 月

以上